

## 2025年度第2回中山競馬特別レース名解説

### <第1日>

#### ○ 水仙賞

水仙（すいせん）は、ヒガンバナ科の多年草。地中海沿岸が原産で、早春に白や黄色の花を横向きにつける。日本では、主に本州・四国・九州の海岸部を中心に自生している。花言葉は「自己愛」「神秘」。

#### ○ 春風ステークス

春風（はるかぜ）は、春に東や南の方角から吹く風のこと。「東風（こち）」とも呼ばれる。

#### ○ オーシャンステークス（GⅢ）

本競走は、スプリント路線の充実を図る観点から、2006年に創設された重賞競走。なお、第1着馬には同年の『高松宮記念』への優先出走権が与えられる。

オーシャン（Ocean）は、「大洋」「大海」「海洋」を意味する英語。

### <第2日>

#### ○ 富里特別

富里（とみさと）は、千葉県北部の市。北総台地の中央に位置する。江戸時代には、徳川幕府直轄の野馬放牧地であった佐倉七牧の一部があった。特産品としてスイカやニンジンなどが有名。

#### ○ アクアマリンステークス

アクアマリン（Aquamarine）は、緑柱石のうち透明でスカイブルーの色調をした宝石で、3月の誕生石。名は、ラテン語の「aqua（水）」と「marina（海の）」に由来する。加熱されることでより青みを増し、時間をおいても色褪せることがない。

#### ○ 中山記念（GⅡ）

本競走は、1936年に創設された重賞競走。創設当初は芝3200mのハンデキャップ戦として実施されていた。その後、幾度かの距離変更を経て、1957年に現行の1800mとなり、1972年には負担重量が別定重量に変更された。また、当初は春秋2回行われていたが、1952年から年1回の実施となっている。なお、第1着馬には同年の『大阪杯』への優先出走権が与えられる。

## ＜第3日＞

### ○ 潮来特別

潮来（いたこ）は、茨城県南東部の市。2001年に行方郡潮来町と牛堀町が合併し誕生した。江戸時代には、鹿島・香取・息栖（いきす）の三社詣や、霞ヶ浦水運の中心地として発展した。水郷の市として知られ、河川沿いには多くのあやめが咲き誇る。

### ○ 上総ステークス

上総（かずさ）は、現在の千葉県中部に当たる旧国名。1873年に、上総と安房一円を管轄していた木更津県と、下総を管轄していた印旛県が統合して千葉県と改称した。

### ○ ローレル競馬場賞中山牝馬ステークス（GⅢ）

本競走は、1983年に創設された牝馬限定の重賞競走。創設当初より、芝1800mのハンデキャップ戦として実施されている。

ローレルパーク競馬場は、アメリカのメリーランド州にある競馬場。創設当初から、同場との親善を目的として、競馬場名を競走名に冠している。本競走は、同場より寄贈賞を受けて実施されている。

## ＜第4日＞

### ○ 湾岸ステークス

湾岸（わんがん）は、湾の沿岸のこと。千葉県富津市と神奈川県横須賀市を結ぶ東京湾岸道路や、湾岸千葉インターチェンジなどの名称に用いられている。

### ○ 総武ステークス

総武（そうぶ）は、旧国名の下総、上総の二国と武蔵の国を併せた名称。下総が主に現在の千葉県北部と茨城県南西部、上総が千葉県中南部、武蔵が東京都・埼玉県・神奈川県北東部にあたる。

## ○ 報知杯弥生賞ディープインパクト記念（GⅡ）（皐月賞トライアル）

本競走は、1964年に創設された3歳馬の重賞競走。幾度かの距離変更を経て、1984年に現行の芝2000mとなった。2020年には、ディープインパクト号の功績を称え、競走名を改称した。同馬は、無敗でクラシック三冠を制するなどJRA・GⅠ7勝を記録し、2008年には顕彰馬に選出され、種牡馬としても2012年以来11年連続リーディングサイアーを獲得するなど輝かしい実績を残した。なお、第3着までの馬には『皐月賞』への優先出走権が与えられる。

弥生（やよい）は、陰暦で3月の呼称。

報知新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## <第5日>

### ○ 阿見特別

阿見（あみ）は、茨城県南部、稲敷郡に属する町。農産物の特産品が多く、特にアンデス高原を原産とするヤーコンが有名。なお、同町にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるライトウインズ阿見がある。

### ○ 幕張ステークス

幕張（まくはり）は、千葉県千葉市美浜区と花見川区にまたがる広域地名。かつては東京湾臨海部の浅瀬の干潟であったが、昭和末期以降の大規模な都市開発により、住宅・オフィスビル・大学などが立ち並ぶ都市へと発展している。

### ○ アネモネステークス（L）（桜花賞トライアル）

アネモネ（Anemone）は、南ヨーロッパ原産のキンポウゲ科の多年草。花の色は赤・白・紫・青などで、ぼかし咲きもある。花言葉は「君を愛す」「恋の苦しみ」。なお、第2着までの馬には『桜花賞』への優先出走権が与えられる。

## <第6日>

### ○ 房総特別

房総（ぼうそう）は、安房・上総・下総の総称で、特に安房と上総のこと。また、房総半島の略称。房総半島は、関東地方南東部に位置し、西は東京湾、東は太平洋に面する。太平洋側の海域には黒潮が流れ、カツオ・マグロ・アジ・サバなどの好漁場となっている。

## ○ 東風ステークス（L）

東風（こち）は、東から吹く風、春風などの意。春を告げる風として雅語に取り入れられている。

## ○ スプリングステークス（GⅡ）（皐月賞トライアル）

本競走は、1952年に創設された3歳馬の重賞競走。創設当初の負担重量は別定重量であったが、現在は馬齢重量で実施されている。なお、第3着までの馬には『皐月賞』への優先出走権が与えられる。

スプリング（Spring）は、「春」を意味する英語。

## <第7日>

## ○ ペガサスジャンプステークス

本競走は、2001年に創設された障害オープン競走。『中山グランドジャンプ』のステップ競走として位置付けられている。

ペガサス（Pegasus）は、ギリシャ神話に登場する有翼の馬。英雄ベレロフォンの愛馬として怪獣キマイラ退治で活躍したとされる。

## ○ 館山特別

館山（たてやま）は、千葉県房総半島南部の市。南房総国定公園の中心地であり、館山湾や館山野鳥の森など、風光明媚な風景が広がっている。

## ○ 韓国馬事会杯

本競走は、競馬を通じて韓国との国際親善を深め、競馬の水準を高めることを目的として1993年に創設された交換競走。

韓国馬事会（KRA）は、1942年に設立された「朝鮮馬事会」を前身とする韓国の競馬統括機関。ソウル競馬場・済州競馬場・釜山慶南競馬場および韓国国内の場外発売所などを統括している。本競走は、同会より寄贈賞を受けて実施されている。

## ○ フラワーカップ（GⅢ）

本競走は、1987年に創設された重賞競走。創設当初より、芝1800mで実施されている。なお、2001年に負担重量が馬齢重量から別定重量に変更されたが、2024年から再び馬齢重量で実施されている。

フラワー（Flower）は、「花」を意味する英語。

## ＜第8日＞

### ○ 鎌ヶ谷特別

鎌ヶ谷（かまがや）は、千葉県北西部の市。市域は北総台地にあり、江戸時代は幕府の直営牧場である小金五牧の一部とされ、軍馬育成の役割を果たしていた。現在は衛星都市として発展しているほか、プロ野球の球団である北海道日本ハムファイターズの2軍本拠地「ファイターズ鎌ヶ谷スタジアム」があることでも有名。

### ○ スピカステークス

スピカ（Spica）は、おとめ座のアルファ星。春の宵、南の空に見える白色の1等星。ラテン語で「麦の穂先」の意味を持つ。純白に輝くことから「真珠星」とも呼ばれる。

### ○ 千葉ステークス

千葉（ちば）は、関東地方南東部の県。かつての安房、上総二国と下総国の大部分を占める。県内のほぼ全域で温暖な気候のため落花生や梨などの農業が盛んで、東京湾沿岸には工業地帯が広がっている。